

令和7年度 第5回山城地方 学力向上対策会議を開催しました！



令和7年度第5回山城地方学力向上対策会議を開催し、「教育実践交流会の運営」、「教育実践事例集第34集」、「令和7年度のまとめと令和8年度の方向性」について協議を行いました。今年度最終回となる本会議において、今年度の事業について総括し、次年度も山城地方小・中学校の学力充実・学力向上を目指すための軸となる、「主体的・対話的で深い学びとなる授業改善の視点」について協議を行いました。

1 日 時 令和8年2月6日（金） 午前10時から同11時まで



2 場 所 京都府総合教育センター 第2会議室

3 出席者 山城地方学力向上対策会議員 21名

（各ブロック校長会代表、市町連合教育委員会、山城教育局指導主事）

令和7年度の総括と令和8年度の方向性について

本年度の成果と来年度への方向性



学力向上 対策会議

教育実践 フォーラム

教育実践 事例集 発信 内容の

- 山城地方管内小・中学校における「授業改善による学力の充実・向上の具体的な方策」について協議
- 「やましろ授業スタンダード」（改訂版）の内容確認
- 学力向上に関する取組の円滑な運営に向けて内容検討、協議、役割確認
- 管内学力・学習状況について情報の共有
- ◆全国学力・学習状況調査及び京都府学力・学習状況調査（学びのパスポート）の結果等を踏まえた学力状況に関する情報の共有と課題解決に向けた具体的な手立ての交流
- ◆「やましろ授業スタンダード」（改訂版）等を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を組織的に進めるための協議
- ◆学力向上に関する各取組の更なる推進に向けて内容を検討・協議し、役割を確認
- ◆来年度の会長は宇治ブロック、副会長が城久ブロック（小）・綴喜ブロック（中）

- 「やましろ授業スタンダード」（改訂版）等を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業を公開
- 「学習指導と生徒指導の一体化」「主体的な学びとなる単元構想・授業づくり」「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」等の授業改善の視点につながる課題を提起
- ワークショップにて公開授業・授業改善の3つの視点を踏まえ、「単元・授業づくり」や「自校の課題解決についての手立て」についてのグループ協議
- ◆来年度は、「綴喜ブロック」を会場として開催
- ◆「やましろ授業スタンダード」（改訂版）等を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進める授業を公開
- ◆フォーラムに向けての学校支援
- ◆実施方法やタイムテーブル等、運営方法の検討
- ◆効果的な交流協議の内容や協議の柱の検討

教育実践 交流会

- 実践発表校の優れた実践成果を管内へ波及
- 学力充実・向上に向けた自校の研究・取組をもとにした交流協議
- 授業改善を軸にした組織的な課題解決に向けた検討
- ◆小・中学校別分離会の持ち方について
- ◆実践発表校の支援
- ◆効果的な交流協議の内容や協議の柱の検討

教育実践 事例集

- 実践事例集（第34集）及び「活用ガイド」を発刊。管内小・中学校にデータ配付
- 管内小・中学校の優れた実践を普及
- 活用ガイドを更新し、各校での活用方法を提示
- ◆掲載頻度を各ブロックで標準化。掲載校が毎年変動するため、中学校の事例掲載数に留意して実施

発信 内容の

- 学力向上対策会議での協議内容をホームページに掲載し、各校長会・各小・中学校に発信
- ◆次年度についても、学力向上対策会議での協議内容、取組内容をホームページに掲載し、各校長会・各校へ発信

その他 局事業（指導主事計画訪問、学校力向上トライアル、教育実践リーダー育成研修等）においても「組織的な授業改善」を推進

○成果 ◆課題・方向性

令和7年度 山城地方 学力向上を目指す 教育実践交流会 を開催しました！

4つの分散会に分かれて山城管内小・中学校の実践発表を聴きました。「実践事例を自校に取り入れるには」という発想ではなく、各発表校の目指す姿と現状から、どのように自校の課題を見出し、どのように全員で共通理解を図っているか等、事例を構造的・概念的に捉え、分散会Ⅱにおいて自校の課題改善の方策に照らしながら参加者同士で交流・協議を行いました。

第1分散会	京田辺市立桃園小学校	藤原 幸子 教諭	~これまでしたしみみがこう感性 ~手がかりをもとに表現を工夫できる力の育成~
	井手町立泉ヶ丘中学校	前田 拓哉 教諭	誰一人取り残さない学校教育の推進
第2分散会	相楽東部広域連合立笠置中学校	花木 貴志 教諭	すべての生徒の学習意欲向上と基礎学力の底盤をめざして ~個別最適な学びを活かした教認能の伸長~
	八幡市立美濃山小学校	中川 博登 主幹教諭	「すべての子どもが“できる・わかる・覚える」学びを生む授業づくり」
第3分散会	宇治市立宇治中学校	掛井 照博 教諭	~算数科の授業をめざして~ 全ての子どもたちの可能性を引き出す、 個別最適な学びと、効率的な学びの実現を目指す。
	宇治市立木幡中学校	佐飛 泰成 教諭	一人一人に合った学びと「わかる・できる・見える」授業の充実
第4分散会	木津川市立南加茂台小学校	尾崎 まさか 教諭	自ら学び、主体的に問題解決に取り組む意識の育成 ~学ぶ楽しさでできる暮び~
	城陽市立寺田西小学校	中村 駒子 教諭	「明日も学びたくなる学校」をめざして
	精華町立精華南中学校	服部 良輔 教諭	多様な学びを通して自分らしさを発揮する ~非認知能力の向上を目指して~

分散会Ⅰ

- ①アイスブレイク
- ②実践発表
- ③グループ交流
- ④質疑応答
- ⑤指導助言

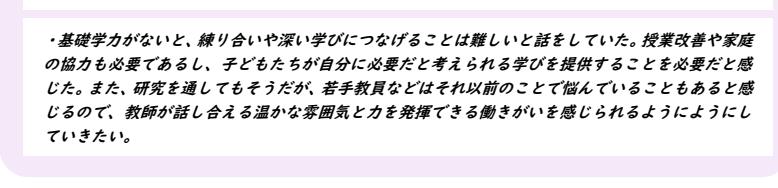
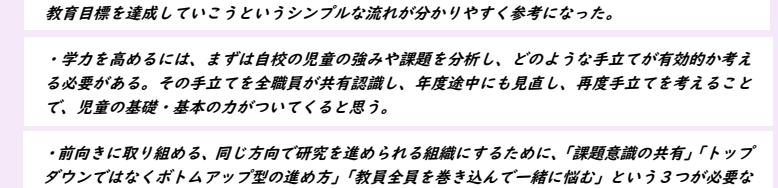
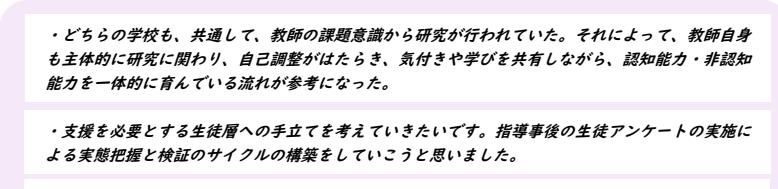
◆実践発表を聞くときのポイント

- ①その学校の「目指す姿」に対して、「現状」はどうだったか
- ②目指す姿と現状のギャップを埋めるために、何（組織、人、取組、重点研究、授業改善等）をどうしたか
- ③その実践をどのように検証し、次につなげたか(つなげようとしているか)

優れた実践をインプット

グループで意見交流 自分の考えをアウトプット

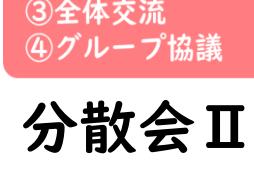
見方・考え方を 深めてメタ認知



自校の
組織的な課題改善の
手立てを考える

各校の実践研究を共有

参考になった取組を全体でシェア



- ①アイスブレイク
- ②グループ交流
- ③全体交流
- ④グループ協議

分散会Ⅱ